

レモン(成木)

【令和6年1月1日現在の農薬登録内容】2024版

※ 太枠は重要防除です。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
収穫後	かいよう病		ICボルドー66D 100倍(アピオンE 1000倍加用)又は ムッシュボルドーDF 1000倍(クレフノン200倍加用) 発芽前であればアピオンE、クレフノンの加用は必要ない。
4月上旬	ミカンハダニ		アタックオイル 100倍又は ハーベストオイル 100倍又は スプレーオイル 100倍
	注)ICボルドー66Dとマシン油との散布間隔は14日以上空ける。 注)カイガラムシ類を多く見かけた場合は アプロード水和剤1000倍をマシン油に加用し散布する。		
5月 (開花盛期 ～ 落弁期)	かいよう病		コサイド3000 2000倍又は イデクリーン水和剤 500倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
	灰色かび病 そうか病		ストロビードライフフロアブル 2000倍 (収穫14日前まで)
	チャノホコリダニ ミカンサビダニ		イオウフロアブル 400倍
	コアオハナムグリ	劇	モスピラン顆粒水溶剤 4000倍 (収穫14日前まで)
	注) マシン油との散布間隔は14日以上空ける。 イデクリーン水和剤及びイオウフロアブルはマシン油と14日以内の近接散布は行わない。		
6月中旬 ～ 6月下旬	黒点病		ジマンダイセン水和剤 600倍 (収穫90日前まで) 又は ペンコゼブ水和剤 600倍 (収穫90日前まで)
	ミカンハダニ カイガラムシ類		アタックオイル 150倍又は ハーベストオイル 150倍又は スプレーオイル 150倍
	アザミウマ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	劇 劇	コテツフロアブル 6000倍 (収穫前日まで) 又は ハチハチフロアブル 2000倍 (収穫前日まで)
注)カイガラムシ類が前年多発した園ではアプロードエースフロアブル1000倍または、スタークル顆粒水溶剤2000倍を6月上旬に散布する。アプロードエースフロアブルはサビダニにも効果あり。スタークル顆粒水溶剤はアブラムシ類、ミカンハモグリガにも効果有り。 注)ミカンナガタムシ・ゴマダラカミキリ成虫の発生園では、エクシレルSE 5000倍を散布する。			
7月	かいよう病 黒点病		コサイド3000 2000倍 又は イデクリーン水和剤 500倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
7月下旬 ～ 8月中旬	黒点病		(収穫90日前までなので、収穫前日数に特に注意する) ジマンダイセン水和剤 600倍 (収穫90日前まで)
	ミカンハモグリガ チャノホコリダニ ミカンサビダニ アザミウマ類	劇	メビウスフロアブル 3000倍 (収穫14日前まで)
注) コサイド3000、イデクリーン水和剤との混用は効果低減を招くのではない。 注) カイガラムシ類を多く見かけた場合は コルト顆粒水和剤 3000倍を散布する。 注) ジマンダイセンを散布できない場合、キノドー水和剤80 800倍(収穫30日前まで)を散布する。			
8月下旬 ～ 9月上旬	ミカンハダニ ミカンサビダニ チャノホコリダニ		ダブルフェースフロアブル 3000倍 (収穫前日まで) 又は ダニゲッターフロアブル 2000倍 (収穫前日まで)
	かいよう病・黒点病		コサイド3000 2000倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
注) 毎年黒点病が多い園ではストロビードライフフロアブル2000倍(収穫14日前まで)を散布する。			

散布量は500～600^{リットル}/10aを目安にタブリ散布する。
「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」